

4 人材育成活動

□生涯学習分野

環境学習支援士

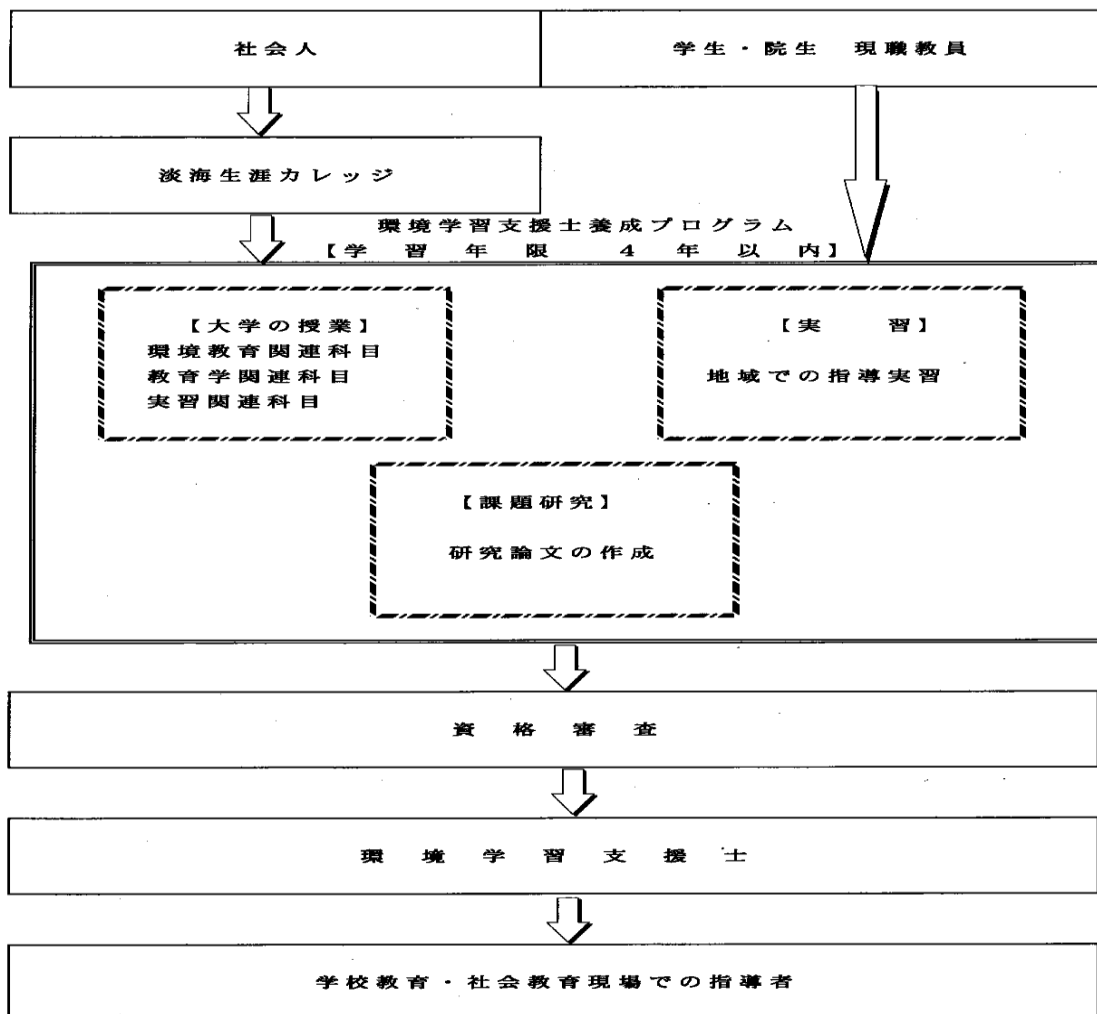
1. 環境学習支援士とは

県の約 6 分の 1 を占める琵琶湖を有する滋賀県においては、環境問題に対する県民の関心は非常に高く、環境学習や環境問題を解決するための実践も盛んに行われている。その一方で今、そうした環境学習や実践を効果的に進めるためのリーダーの養成が重要な課題となっているのである。「環境学習支援士」とは、まさに学校や地域にあって、自ら先頭に立ち、適切な指導・助言を行いながら、環境問題の解決に取り組むことができるリーダーである。

2. 学習の流れ

「環境学習支援士」養成プログラムは、「大学の授業の履修」、「実習」、そして「課題研究」の3つから構成される(図1)。

【図1 学習の流れ】



これらの学習を4年以内(最短2年で修了可能)に修了した受講生には、厳格な審査を経た後に、滋賀大学より「環境学習支援士」の資格が授与されることになる。

3. 資格取得者

「環境学習支援士」資格取得者は、平成24年度までに、「学生コース」39(女性:27男性:12)名、「社会人コース」29(女性:10 男性:19)名、「現職教員コース」6(女性:0 男性:6)名、計74名である。そして今年度、新たに10名(「学生コース」5名、「社会人コース」4名、「現職教員コース」1名)の「環境学習支援士」が誕生した。

認定証授与式は、3月21日15時より、滋賀大学大津サテライトで行われ、学長より一人ひとりに認定証が渡された。これからの彼らの地域での活躍に期待したい。

4. アンケート結果

資格取得者に対してアンケート調査を行ったところ7名から回答を得られた。

プログラムに対する満足度については、2名が「非常に満足している」、4名が「まあ満足している」という結果が得られた。また、プログラムのどのような点がよかったのかについては、以下のような回答が得られた。

- 環境や教育関係の授業をうけ、専門的な知識を身につけることができた(男性・社会人)
- 環境学習支援士の方とお知り合いになれた(女性・学生)
- 環境に関する実習により、自らが指導する立場で実習できたことは良い経験になったと思う(女性・学生)
- 暗記中心の学習ではなく、実習など体験活動もプログラムに入っていた点(女性・学生)

(文責 教授 神部 純一)



【課題研究発表会】



【認定証授与式】